

リチウム電池 包装基準の改定に
対応した「積み重ね試験」のご紹介

IATA航空危険物規則書の改定により、2025年1月
リチウム電池同梱機器および組み込み機器に関する
包装基準に『積み重ね強度』が追加*されました。
新基準での評価試験は当社にお任せ下さい。

*リチウム電池単体は2023年に施行済



包装基準の改定概要

電池単体に加え、機器同梱・組み込みにおいても『積み重ね強度』が追加されました。

従来の包装仕様では、新基準に適合していない恐れがあります。当社では、確認試験から
包装見直しまで、お客様のご要望に合せた最適なサービスをご提供します。

※積み重ね強度：高さ3mまで積み重ねた場合と同等の合計重量を24時間加え、内容物に損傷が無いこと

IATA 航空危険物規則書 第66版(2025年版)包装基準改定概要
リチウムイオン電池（UN3480、UN3481）

分類	UN3480		UN3481		UN3481		
包装等級	PI965		PI966		PI967		
区分	Section I A	Section I B	Section I	Section II	Section I	Section II (ラベル有)	Section II (ラベル無)
2024年まで	国連規格容器	1.2m落下試験に合格する容器および24時間の3m積み重ねに耐える容器	国連規格容器	1.2m落下試験に合格する容器	規定なし	規定なし	規定なし
2025年から	国連規格容器	1.2m落下試験に合格する容器および24時間の3m積み重ねに耐える容器	国連規格容器	1.2m落下試験に合格する容器および24時間の3m積み重ねに耐える容器	24時間の3m積み重ねに耐える容器	24時間の3m積み重ねに耐える容器	24時間の3m積み重ねに耐える容器

※下線が改定点

リチウム金属電池（UN3090、UN3091）

分類	UN3090		UN3091		UN3091		
包装等級	PI968		PI969		PI970		
区分	Section I A	Section I B	Section I	Section II	Section I	Section II (ラベル有)	Section II (ラベル無)
2024年まで	国連規格容器	1.2m落下試験に合格する容器および24時間の3m積み重ねに耐える容器	国連規格容器	1.2m落下試験に合格する容器	規定なし	規定なし	規定なし
2025年から	国連規格容器	1.2m落下試験に合格する容器および24時間の3m積み重ねに耐える容器	国連規格容器	1.2m落下試験に合格する容器および24時間の3m積み重ねに耐える容器	24時間の3m積み重ねに耐える容器	24時間の3m積み重ねに耐える容器	24時間の3m積み重ねに耐える容器

※下線が改定点

日通NECロジスティクスの検査試験設備のご紹介

2025年1月より追加

24時間の3m積み重ね試験対応

積み重ね試験用ウェイト（鉄板 計1,962kg）

- ・ 698×599×10 (mm) 約32kg 12枚
- ・ 540×390×22.5(mm) 約36kg 9枚
- ・ 540×390×10 (mm) 約16kg 60枚
- ・ 540×390× 6 (mm) 約10kg 3枚
- ・ 400×300× 4 (mm) 約 4kg 6枚
- ・ 232×232× 7 (mm) 約 5kg 40枚
- ・ 172×172× 5 (mm) 約 1kg 40枚

※鉄板以外にも各種ダミーウェイトを取り揃えています。



1.2mからの落下試験対応

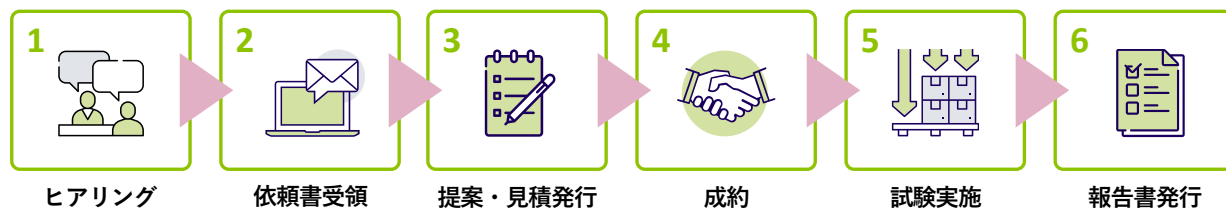
落下試験機事例（スライドテーブル型）

- ・ メーカー：神栄テクノロジー株式会社
- ・ 型式：DTS-100
- ・ 落下高さ：200~1,500(mm)
- ・ 供試品最大寸法：
L 1,000×W800×H1,000(mm)
- ・ 供試品最大質量：94kg
- ・ 落下台基礎質量：4,700kg
- ・ 容器等級：Ⅱ,Ⅲ対応



評価試験の基本フロー

お気軽にお問い合わせください



危険物に関するその他のサービスをご紹介します

UN容器設計・評価試験・供給

危険物を航空輸送・海上輸送する場合、国内（陸送を除く）、海外を問わず、UN規格に適合した包装容器を使用し、適切な表示を施して包装する必要があります。また、新たに設計したUN容器を使用するためには、性能試験が義務付けられています。当社の品質評価センター（東京都府中市）では、UN容器の設計から供給までのサービスを提供しています。当センターは、HK（日本舶用品検定協会）の指定試験所であり、調質、落下、積み重ね、吸水度試験といった試験が対応可能です。 ※HK検査員立ち合いが必要です。

試験設備の一例

落下試験機（スライドテーブル型）



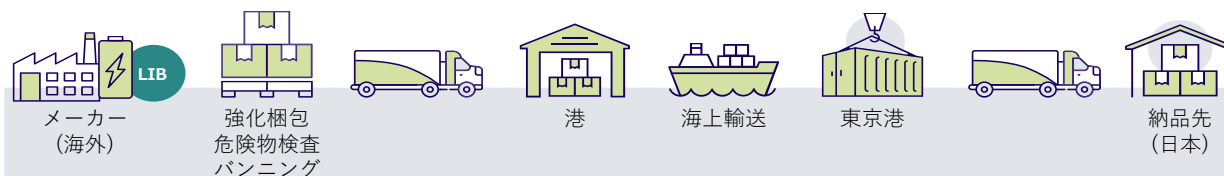
専用設計

製品重量やSDS（安全データシート）、保管条件、仕向け地、輸送手段等の情報を確認し、容器の材質や形状などは、HK（日本舶用品検定協会）の基準にて専用設計します。



リチウムイオン電池輸入例

集荷～指定場所への納品までをワンストップチャネルでご提供します。



- ✓ 最適な輸送スケジュールの提案
- ✓ 危険物輸送が可能な船/航空会社の選定
- ✓ 国際基準をクリアする強化梱包の提案
- ✓ 輸出申告・輸入申告のサポート 等

- 評価試験や容器設計、国内輸送やフォワーディング等、お悩みがございましたら当社へお気軽にご相談ください。
- 評価試験については、当社の品質評価センター（東京都府中市）のご見学やWeb相談を無料で承っております。

問い合わせ先

日通NECロジスティクス株式会社

- 本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- 本誌に掲載されている内容に関して、無断転用や無断転写を禁じます。

〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町1丁目403番
（武蔵小杉STMビル）

ホームページアドレス：

<https://www.nittsu-necl.co.jp>



お問合せフォーム：

<https://www.nittsu-necl.co.jp/contact/>



2025.03発行